

トランジスタはどのようにして生れ、日本で如何に展開したのか？ —キーパーソン銘々伝—

20世紀最大の事件はトランジスタの誕生だった。世界の人々の生活に変革をもたらしたトランジスタは一体どんな経緯で生まれ出たのか？

そして、戦争に負けて最低の生活に落ちていた日本に、トランジスタはどのように芽吹き、育てられたのか？やがて、日本の技術は一部でアメリカを超えた。それはどうして可能だったのか？

トランジスタ公表の年に大学を出て、国立研究所でこの研究に入るといふ巡り合わせの中で、ショックレー、バーディーンと30年の交友を持ち、歴史の現場の中で過ごした経験から、さまざまなエピソードを選んでその展開を振りかえる。

活躍した多くの先輩友人が相次いで亡くなるので、歴史を動かした人々の姿を、先々代の講釈師一龍齊貞山の『赤穂義士銘々伝』にならって、その一部をお話して見ようと思う。

もし時間があれば、一つの問題提起を付け加える。

講 師 菊池 誠 氏

(元ソニー中央研究所長)

略 歴：

昭和23年	東京大学理学部物理学科卒業
昭和23年	通産省電気試験所(現・産業技術総合研究所)に入所
昭和35年~36年	米マサチューセッツ工科大学エレクトロニクス研究所客員研究員
昭和49年	ソニー株式会社中央研究所長、常務取締役
平成 元年~5年	同社技術顧問
平成 2年	東海大学工学部教授
平成12年~	東海大学名誉客員教授

主な研究分野：半導体物理学、電子デバイスの基礎研究、アモルファス半導体

活動・受賞：

- 米国IEEE『Fellow』に就任(昭和57年)
- 米国ナショナル・アカデミー・オブ・エンジニアリングの外国会員に就任(昭和62年)
- 神奈川文化賞受賞(平成6年)

著 書：

- 若きエンジニアへの手紙：「実験」とは何か、「研究開発」の現場とは 菊池誠著 /工学図書 H.18出版
 - 友よ、科学の根を語ろう 菊池誠著 /工学図書 H.15出版
 - 「三つ子の魂」が目覚ます 菊池誠著 /NTT出版 H.7出版
 - 日本の半導体四〇年 菊池誠著 /中央公論社 H.4出版
 - 若きエンジニアへの手紙 菊池誠著 /ダイヤモンド社 H.2出版
 - エレクトロニクスからの発想 菊池誠著 /講談社 S.57出版
 - 幸運な失敗 菊池誠著 /日本放送出版協会 S.47出版(サンケイ児童出版文化賞)
 - 情報人間の時代 菊池誠著 /実業之日本社 S.45出版(日本エッセイストクラブ賞)
- など多数